

議会市民懇談会報告書

令和6年6月4日

山陽小野田市議会議長 高 松 秀 樹 様

民生福祉常任委員長 奥 良 秀

令和6年5月24日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和6年5月24日（金） 午後2時～午後3時20分
- 2 開催場所 山陽小野田市役所3階 第2委員会室
- 3 申請団体等名称 山口県民主医療機関連合会
医療生協共同組合 健文会
- 4 参加人数 11人
- 5 テーマ 低所得の方への熱中症対策の費用助成について
- 6 担当議員名 奥良秀、吉永美子、中岡英二、古豊和恵、前田浩司、山田伸幸
- 7 懇談会次第
 - （1） 開会挨拶
 - （2） 出席者紹介
 - （3） テーマの趣旨説明
 - （4） 意見交換
 - （5） 閉会挨拶
- 8 意見交換の主な内容
 - 団体からの報告
 - ・令和5年7月に山陽小野田市在住の生活保護受給者が、エアコンがなく熱中症で死亡された事例の説明
 - ・生活保護受給者がエアコン設置や修理の費用を捻出することが厳しいという状況の説明

・生活扶助基準1類・2類の合計と改定の流れについての説明

●団体との意見交換

【議員】 入院自体が手遅れだったのか。

【団体】 病院からそのように報告を受けている。

【議員】 エアコン設置について、市のケースワーカーに相談されたか。

【団体】 エアコン購入について相談をした。社協の貸付制度を使うこと、毎月の費用のことや取り付けが2か月先になることを言われた。

【議員】 本日のテーマは低所得者の方への熱中症対策の費用助成であるが、生活保護受給者に対する制度の改善について説明されている。どの様に捉えたら良いか。

【団体】 まずは、生活保護受給者を検討していただき、次第に広がっていければと考えている。

【議員】 孤立されている高齢者の熱中症対策についてどのような対策があるか。

【団体】 社会的に孤立して生活している高齢者に、熱中症に対するヘルスリテラシーを持ってもらいたい。そのため、病院側としては、職員が現場に出かけていくことを強調している。行政もその姿勢で望んでいただきたいと思います。

【議員】 高齢者の中には、暑くても暑さを感じない方がいるがどの様に対応したら良いか。

【団体】 認知力の低下だから難しく、回答できない。

●団体側からの意見

- ・故障したエアコンを修理する又は買い替えることができる制度、またエアコンにかかる電気料金の助成について早急に検討してほしい。
- ・冬はこたつで暖を取るので、電気代があまりかからないと聞いている。夏の暑さは命に直結すると思われるので、昔あった夏季加算手当などがあれば、その分エアコン使用に対する儉約を緩められるのではないかと思います。
- ・エアコン代や電気料金を助成して熱中症での入院を減らす方が、市の支出を減らすのは確実である。